

(平成30年4月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向)	
全 般	4月の青果物は、気温の上昇により野菜の生育が促進されたが、冬季の低温により果実の生育が遅れたため、入荷量は前年同月並みであった。また、単価は、野菜の主要品目で前年同月を下回ったため、12%下回った。 5月は、近郷野菜では、実えんどうや実山椒の入荷が最盛期となり、中旬からは青梅の入荷が始まる。 果実では、甘夏かんや清見オレンジが終盤となり、ハウスみかん、マンゴー、桜桃等の入荷が増え、メロン類の入荷が最盛期を迎える。
野 菜	野菜の入荷量は前年同月並みであり、単価は15%下回った。 根菜類の入荷量は前年同月並みであり、単価は6%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で4%上回り、単価は21%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は13%下回った。 土物類の入荷量は、たまねぎの入荷量減少が影響し、前年同月比で3%下回った。単価は、ばれいしょやたまねぎが前年同月を大幅に下回ったため、29%下回った。
果 実	果実の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は10%上回った。 かんきつ類の入荷量は、清見オレンジの大幅な入荷量減少が影響し、前年同月比で19%下回った。単価は、秀品比率が低かったため、5%下回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は19%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月並みであり、単価は5%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で21%下回り、単価は12%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	長崎，千葉，滋賀，鹿児島を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で４％上回り，単価は１９％下回った。
西洋にんじん	徳島を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で１５％下回り，単価は３０％上回った。
たけのこ	京都を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は２３％下回った。
【葉菜類】 はくさい	茨城，和歌山，岡山，九州から入荷された。入荷量は前年同月比で２５％上回り，単価は６４％下回った。
キャベツ	神奈川，愛知，和歌山，兵庫，鹿児島，滋賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で６％上回り，単価は１９％下回った。
ほうれんそう	福岡，徳島，茨城，京都，滋賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で６％下回り，単価は５％上回った。
レタス	岡山，兵庫，徳島，長野から入荷された。冬季の低温により生育が遅れ，入荷量は前年同月比で９％下回り，月間を通じて量販の需要が低く，単価は１８％下回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎，高知，徳島，滋賀を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で２５％上回り，単価は２７％下回った。
なす	高知，岡山，熊本，福岡を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で３５％上回り，単価は２１％下回った。

とまと	熊本，福岡，京都を中心に入荷された。大玉比率が高くなったことと中旬の気温上昇により入荷量は一時的に増えたが，下旬はその反動で入荷量が減ったため，入荷量は前年同月比で11%下回り，月間を通じて量販の需要が低く，単価は5%下回った。
ピーマン	宮崎，高知，茨城を中心に入荷された。入荷量は前年同月比で28%上回り，単価は12%下回った。
【土物類】 ばれいしょ （メークイン含む）	鹿児島，北海道を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は43%下回った。
たまねぎ	長崎を中心佐賀，兵庫から入荷された。冬季の低温により生育が遅れ，入荷量は前年同月比で6%下回り，小玉比率が高く，単価は21%下回った。
【その他野菜】 生しいたけ	徳島を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は14%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	熊本, 福岡, 愛媛から入荷された。入荷量は前年同月比で19%上回り, 単価は4%下回った。
清見オレンジ	和歌山から入荷された。入荷量は前年同月比で50%下回り, 単価は8%上回った。
富士 （サン富士含む）	青森から入荷された。入荷量は前年同月比で20%下回り, 単価は24%上回った。
いちご	福岡, 大分, 熊本, 佐賀, 愛媛などから入荷された。入荷量は前年同月並みであり, 単価は5%上回った。
アールスメロン	静岡, 高知から入荷された。入荷量は前年同月比で4%下回り, 単価は12%上回った。
アンデスメロン	熊本から入荷された。冬季の低温及び日照不足により生育が遅れ, 前年同月比で12%下回り, 秀品比率がやや低く, 単価は4%下回った。
大玉すいか	熊本から入荷された。入荷量は前年同月比で7%下回り, 単価は8%上回った。